

令和2年8月28日

宇都宮市長 佐藤 栄一様

一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会
会長 大山 知子

高齢者福祉施設等におけるクラスターを防止するための要望書

貴職におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策について、医療保健福祉を堅持する観点から、日々多大なるご尽力をいただき深謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は第1波を大きく上回る大きさとなり、その勢いは留まるところを知らない状況になっています。宇都宮市をはじめ県内では、高齢者福祉施設等での大きなクラスターの発生はないものの、いつ施設内でクラスターが発生してもおかしくない状況であります。

とりわけ感染症に対する抵抗力の弱い高齢者が入所・利用されている高齢者福祉施設等において、ひとたび大規模なクラスターが発生すれば、施設は瞬く間に「介護崩壊」陥ってしまい、ひいては地域の「医療崩壊」を招くことになると強く危惧しております。

何としても高齢者福祉施設等における感染拡大を防止するためには、実際にクラスターが発生した地域で浮き彫りになった課題や介護現場での不安などを踏まえて、下記の要望の速やかな実現に向け特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 高齢者福祉施設等の職員が体調不良で受診した場合、必ずPCR検査を実施できるようにしていただきたい。
- 2 「高齢者施設における新型コロナウイルス感染者発生時の検査体制について（R2.8.7【厚労省通知】）」に鑑み、感染が確認された場合、早急かつ一斉に、全職員及び全利用者等にPCR検査を実施できるようにしていただきたい。
- 3 虚弱な高齢者等が感染した場合、即時入院の措置を講じていただきたい。
- 4 高齢者福祉施設等においてPCR検査を実施する場合、必要に応じて医師を派遣していただきたい。
- 5 施設での感染が確認された際に、早期に衛生用品等を支援できる体制を整備していただきたい。